

Research

内容解説資料

教授用資料

2020 .1st

特集 学びの場としての授業実践

皆川雅樹の授業探訪④

- 探究する生徒を見出す〈日本史 A〉の授業 2
- 教科書 Research 供給教科書の変更点 11
- 『プリント素材データベース』を活用して
遠隔授業, 課題配信用デジタルデータを作成しましょう 14



清水書院

本社

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋3-11-6

営業部 TEL 03-5213-7151

FAX 03-5213-7160

編集部 TEL 03-5213-7155 ~ 6

大阪支社 / 札幌営業所

URL <http://www.shimizushoin.co.jp>

【特集】学びの場としての授業実践

皆川雅樹の授業探訪④

探究する生徒を見出す 〈日本史 A〉の授業

～〈歴史総合〉などにもつながる
「問い」づくり～

昌平中学校・高等学校（埼玉・私立）

〈日本史 A〉の授業

担当教員：堀越直樹 先生（教員 16 年目）

※ 2019 年 11 月に取材

◆取材者プロフィール

皆川 雅樹（みながわ まさき）

産業能率大学経営学部准教授。博士（歴史学）。専修大学兼任講師（教職課程）。元専修大学附属高校・法政大学第二高校教諭（地理歴史科）。アクティブラーニングを意識し、ファシリテーション、KP 法などを駆使して、授業などの学びの場づくりに取り組む。多くの教育系メディアで実践が紹介され、講演・研修講師を全国で務めている。著書『日本古代王権と唐物交易』（単著、吉川弘文館）、『アクティブラーニングに導く KP 法実践』（川嶋直との共編著、みくに出版）、『歴史教育「再」入門』（前川修一・梨子田喬との共編著、清水書院）など。

@ご感想・ご意見などは下記メールアドレスをお願いします。

MINAGAWA_Masaki@hj.sanno.ac.jp

0. 授業探訪の目的と目標

第4回目の授業探訪。これまで〈現代社会〉〈世界史 B〉〈日本史 B〉の授業を取材させていただいた。今回は〈日本史 A〉の授業を探訪した。

〈授業探訪の目的〉

学び続ける教員たちがつくる学びの場との対話を試みる。

〈授業探訪の目標〉

- ①授業の特徴に触れることができる。
- ②マインドを含めた授業デザインについて考えることができる。
- ③教員にとっての授業の「価値」について考えることができる。

1. 今回の授業探訪先

第4回目の授業探訪先は、埼玉県杉戸町にある昌平中学校・高等学校。同校は、国際バカロレア（IB）認定校であり、中学校では2018年度からMYP（Middle Years Programme）が導入され、高校では2020年度からDP*（Diploma Programme）といったプログラムが導入される。今回の取材では、来年度からDPが始動する高校1年生のIBコースの〈日本史 A〉（以下、科目としての日本史 A などには〈 〉を付す）の授業を取材した。

今回取材した〈日本史 A〉の授業では、次年度以降、本格的に始動するDPにつながる授業デザインがなされていた。これは、後述するように、次期学習指導要領で必修として新設される〈歴史総合〉の授業を進める上でも参考になりそうである。

* DP（ディプロマ・プログラム）

16歳から19歳までを対象とし、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を修めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア＝IB資格）が取得可能なプログラム。



【写真①】〈日本史A〉を担当する堀越先生

2. 「日本の植民地」について考える授業

1コマ目の通常授業。〈日本史A〉の教科書の内容に沿った授業内容である。1コマ45分間の構成は、おおよそ次のようになっていた。

- ①教科書の内容をプレゼンする (約5分)
- ②教科書の内容から疑問点を考える (約5分)
- ③疑問点をクラス全体で共有 (約10分)
- ④補助プリントを読み、設問について個人で考える (約5分)
- ⑤補助プリントの設問をグループで考える (約5分)
- ⑥グループで考えた内容をクラス全体で共有 (約5分)
- ⑦堀越先生のレクチャー (約5分)
- ⑧「問い」づくり (約5分)

2019年11月、IBコースの〈日本史A〉を担当する堀越直樹先生の授業取材させていただいた。取材当日は、1コマが通常授業で、もう1コマが夏休みに作成したレポートをベースとしたプレゼンテーションの授業であった。

授業内容に入る前に、IBコースのクラスについて紹介しておく。

同校では、中学の全クラスでIBのMYPが実施されている。高校は選抜進学コース・特別進学コース・そしてIBコースに分かれており、IBコースのみでDPが実施される。

IBコースは2019年度より高校1年生を迎え、1クラス21名(+留学生)で展開している。なお、21名中4名は中学のMYPを経験しており、残りの17名は高校からの入学生である。

教室は常にアイランド型に机・椅子が置かれており(1島4~5名)、グループワークがしやすい環境になっている(写真②)。また、頻りに席替えを行うなど、クラス全員が互に関係性を構築できる環境づくりがなされている。さらに、留学生も参加することがあるため(取材当日もオーストラリアから2名の留学生が参加)、多様性もある学びの場となっている。



【写真②】教室全体の雰囲気。生徒同士の距離が近い。

①教科書の内容をプレゼンする (約5分)

教科書(実教出版『新日本史A』68~69頁「日本の植民地」)の内容をワークシートに事前に整理し、その内容をグループ内で発表する(このワークシートは、授業前に堀越先生に提出されている)。発表者は、各グループ1名であり、それ以外のメンバーは発表者の説明に耳を傾ける(写真③)。



【写真③】グループ内での発表の様子。ワークシートには教科書の内容を整理したものがぎっしりと書かれていた。

②教科書の内容から疑問点を考える (約5分)

教科書の内容をより深く理解するために、疑問点をあげてワークシートに記入していく。

③疑問点をクラス全体で共有（約10分）

各グループであげられた疑問点を、クラス全体で共有するため、生徒たちがランダムにあてられ発表していく。「日本による植民地化は国外からどのような反応があったか？」「これまでの事件名は地名などが多かったが「三・一独立運動」はなぜ日付なのか？」「同じ植民地でも、日本と台湾は関係が良好だが、日本と朝鮮は関係が良くない理由は？」など、様々な疑問点があげられた。

④補助プリントを読み、設問について個人で考える（約5分）

教科書の内容を様々な角度で考えるために、補助プリントが生徒一人ひとりに配付される（資料①：5ページ）。ここでは、台湾の植民地化に関わる内容が中心に書かれている。その中で、堀越先生が読ませたのは、「戦争と植民地を肯定する意見」が書かれた論考の一説である。

その論考を考慮した上で、次のような設問が提示される。

台湾から留学生がやってきたと仮定する。歴史の話になり、「あなたは日本の台湾統治時代をどう思う？」と言われた。あなたは何を話すか。

⑤補助プリントの設問をグループで考える（約5分）

堀越先生から「まわりの人と相談してもいいですよ」の声とともに、各グループ内で話し合いが始まる。堀越先生が介入しなくても、自然と話し合う雰囲気が出ていた。

⑥グループで考えた内容をクラス全体で共有（約5分）

各グループで考えた内容を、クラス全体で共有するため、生徒たちがランダムにあてられ発表していく。その中で「日本による台湾の植民地化によって台湾内の産業を発展させたが、一方で教科書にもある通り、戸籍上の区別や参政権がないなどの差別があったのも事実」などといった意見が出された。堀

越先生は、この意見に関連する意見を全体に求める。生徒からは、「台湾人が日本人と「同化」される政策は差別するというよりは仲良くみせるものとしてとらえられるが、強引にそのようにしているだけで実際はどうか疑問」などといった意見が発表された。

⑦堀越先生のレクチャー（約5分）

朝鮮の植民地化について、台湾の植民地化との比較の中で生徒たちに問いかける。「台湾の植民地化については肯定的にとらえる場合があるが、朝鮮の植民地化についてはそのような意見・傾向があまりきかれないのはどうしてか？」。さらに、堀越先生は、「戦争と植民地を肯定する意見」が書かれた論考の中で、台湾で発売された『大東亜戦争肯定論』という書籍について、「ネット上のレビューを読むと、「侵略の言い訳」「責任逃れをしている」といった厳しいコメントが目立つ一方、一定の理解を示すものもある」について触れ、「日本の植民地化について肯定できる明確な根拠や数値が示されているわけではないことについてどう思うか。一方で、教科書の内容も絶対ではないので鵜呑みにする必要はない。このような様々な視点で書かれている諸資料をどのように考えるか」などと一定の方向・思想に誘導するわけではなく、多様な考えを持つことの意味を説いた。

⑧「問い」づくり（約5分）

最後に、ワークシートの「『問い』を立てよう」の欄に生徒一人ひとりが思い思いの「問い」を記入し、発表していく。「日本の植民地支配は世界にどのような影響を与えたのか？」「日本が台湾を植民地にしたことについて日本人はどのように考えていたのか？」などの「問い」があげられた。

3. レポートを作成しプレゼンする授業

2コマ目の授業。夏休みに生徒たちが個々で作成したレポートの内容をプレゼンテーションする授業。レポートの作成方法に関する要項（資料②：6ページ）によると、日本史に関する本を読み、MicrosoftWordを

【資料①】配付された補足プリント。

第3章 帝国とデモクラシー 第2節 ヴェルサイユ体制とロシア革命

2 日本の植民地 補助プリント

【台湾統治】

- 1895 樺山資紀が初代台湾総督に就任
日本軍が上陸し、抗日勢力の掃討作戦開始
「全島平定宣言」→島民の武力抵抗は続く
- 1898 児玉源太郎が台湾総督に就任
後藤新平を民政局長に抜擢
土地調査事業を開始
- 1900 台湾製糖会社設立
- 1930 霧社事件（台湾住民の武装蜂起）
- 1940 台湾での創氏改名が始まる
- 1944 徴兵制施行
- 1945 第二次世界大戦終了。植民地統治が終わる

【樺山資紀】



1895年に台湾総督になり、軍政をして現地の抵抗を武力で弾圧した。

【後藤新平】



台湾総督の児玉源太郎のもとで台湾民政局長に就任した後藤新平は、土地改革や産業基盤の整備を行い、製糖業や樟脳などの産業を育成した。

【さとうきびを運搬する汽車】



三井財閥が台湾製糖会社を設立して以来、製糖会社の設立があいつぎ、製糖業は台湾の代表的産業となった。

【台湾の樟脳工場】



台湾統治時代に多くの樟脳工場がつくられ、日本は世界一の樟脳生産国だった。樟脳は衣類の防虫に用いる。

【戦争と植民地を肯定する本の出版】

西谷裕「台湾で発売された『大東亜戦争肯定論』現地読者の反応は」『SAPIO』2018年3・4月号（小学館）

昨年、台湾で「禁断の書」が発売された。『大東亜戦争肯定論』。もとは1963年、文芸評論家の林房雄氏が中央公論誌上に発表した論考で、林氏は先の大戦を「東亜百年戦争」「歴史の定めた運命」と位置づけた。（中略）読者の反応はどのようなのか。ネット上のレビューを読むと、「侵略の言い訳」、「責任逃れをしている」といった厳しいコメントが目立つ一方、一定の理解を示すものもある。実際に読者に会ってみた。花蓮市の東華大学で日本統治時代の台湾史を学んでいるという黄彦傑氏（大学生・20歳）は、「台湾人の歴史観は、国民党に洗脳されてきた。今こそ、新たな歴史観を得なければならない」と語った。彼は、本書の内容に概ね賛同を示した。「結果的に見れば、大東亜戦争によって東アジアの独立が果たされたのは間違いありません。また、東京裁判の誤謬性についても同意します。」ここまでは日本の保守派とも主張が一致する。だが、最後にこう付け足した。「日本は戦争における台湾人犠牲者に対し、謝罪する必要があると思います。」黄氏の祖父は、かつて日本兵としてパプアニューギニアに渡って死の淵を彷徨い、戦後、台湾に戻った。だが、日本政府から十分な補償は受けられなかった。次の言葉からは、台湾人の日本に対する思いの深さと複雑さが伝わるだろう。「私にとって、日本はもう一つの祖国。日本のことが好きだからこそ、台湾に謝罪して欲しいと思うのです。」

台湾から留学生がやってきたと仮定する。歴史の話になり、「あなたは日本の台湾統治時代をどう思う？」と言われた。あなたは何を話すか。

日本史A 課題レポート

1. 課題内容

歴史（主に日本史）に関する本を読み、Wordを使ってレポート作成（2000字以上）を行う。英語で書かれた本を読み、英語でレポートを作成することも認める。

2. 条件・注意点

- ① 専門家・研究者らが書いた本を読む。歴史小説やビジネスコーナーなどにある歴史読み物などは避ける。参考文献を記していない本、根拠を提示しようという姿勢のない本は避ける。新書がおすすめ。
- ② 1200字以上使って要旨をまとめる。800字以上使って批評を書く。
- ③ 要旨をまとめる際は、筆者のねらい、結論を意識する。
- ④ 論旨に対する批評になっているか？
- ⑤ インターネットを情報検索で使用するのは構わないが、インターネット上はあてにならない情報が多く、ほとんどが学問の世界で使えない。「ウィキペディア」や「Yahoo!知恵袋」、「NAVERまとめ」など、不特定多数の人間が編集・回答できるサイトは使用不可。運営元がはっきりしていて、ある程度信頼できる機関のサイトを利用する場合は、参考文献覧にサイト名をしっかり表示する。
- ⑥ 本からの引用を本文に表示する場合は、引用部分に「」を使い、（著書名・書名・出版社・刊行年）も明示する。
- ⑦ コピー&ペースト（コピペ）は禁止。提出されたデータはすべて剽窃発見ソフトを使って剽窃の有無を確認する。剽窃が発覚次第、レポートの評価は0点とする。自分なりの解釈をし、自分の言葉でレポートを書くようにしよう。

3. 提出方法

ManageBacで提出。

4. 参考文献の書き方例

石原比伊呂『足利将軍と室町幕府』（戎光祥選書、2017年）

気象庁「地震の活動状況」<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/>

参照日：2016年4月28日

使ってレポートを作成する。その言語は日本語でも英語でもよいというものである。

今回の取材の際にプレゼンをした生徒たちが扱った書籍は次の通りである。

- ①加藤陽子『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』(新潮文庫、2016年) ※日本語でプレゼン
- ②Inazo Nitobe『The Way of the Samurai』※英語でプレゼン
- ③岡田和裕『明治を食いつくした男 大倉喜八郎』(産経新聞出版、2019年) ※日本語でプレゼン
- ④山口輝臣『はじめての明治史』(ちくまプリマー新書、2018年) ※日本語でプレゼン
- ⑤毛利敏彦『明治維新の再発見』(吉川弘文館、2010年) ※日本語でプレゼン

生徒によるプレゼンは、1名あたり5～10分程度でPowerPointを利用するものであった。プレゼン後には、質問を受け付ける形であった。「イデオロギーとは何か?」「この本を読んで今後の自分に何を取り入れていきたいか?」「日本の近代化をどのように評価できるか?」などといった質問が出されていた。



【写真④】プレゼンをする生徒の様子。

4. 授業の特徴

ここでは1コマ目の通常授業について、その特徴を考える。本授業の特徴として

- i) 生徒が個人・グループで考えられる時間が多い
- ii) 生徒が自走できるワークシートの存在

iii) 思考を促す補助プリントの内容の3点があげられる。

i) 生徒が個人・グループで考えられる時間が多い

1コマ目のワークシートの最後には「振り返り」の欄があり、次のような項目をチェックするようになっている。

1. 主体的に探究できたか。
2. 友人の意見に耳に傾けることができたか。
3. 積極的に発言できたか。
4. 本時の内容を理解できたか。

これら1.～4.の各項目について、5段階(1が最も悪い評価で5が最も良い)で自己評価するものになっている。

1. は、答えが1つではないことを考えることができたかということにつながり、疑問点や問いをつくることができたかを判断するものである。2. は、グループ形式で常に着席していることによってできることである。また、3. と関連して、他人の意見を聴く(訊く)ことによって、自分の意見や疑問・問いを研ぎ澄ますことにもつながる。このような取り組みの結果、4. の授業内容の理解につながるかどうかは本授業では問われているのであろう。

ii) 生徒が自走できるワークシートの存在

1コマ目のワークシートには、次のような項目が用意されている。

- ①教科書の内容をまとめよう
- ②疑問点を書き出してみよう
- ③「問い」を立てよう
- ④班の中でどんな「問い」が出ただろう?
- ⑤「問い」について考察しよう
- ⑥振り返り

①は、事前学習として教科書の内容を整理するものであるが、この段階で教科書の内容は教師に教わってわかるものではなく、自分たちで理解するもので

あることが意識できる。整理すればしようとするほど、②の疑問点をあげることにつながる。その疑問点について調べたり友人に訊いたりすることで解決する場合もあれば、そうでない場合は簡単には答えを導けない③の「問い」につながることになる。さらに、その「問い」は自分だけのものなのか、友人とも共有できるものなのかを④で確認し、それを通じて⑤の「問い」を考察することにつながる。

この①～⑤のサイクルを毎回まわしていくことで、前後の授業内容のつながりや比較ができ、そして、生徒たち自身の力で理解することにつながる。

iii) 思考を促す補助プリントの内容

補助プリントで示された設問「台湾から留学生がやってきたと仮定する。歴史の話になり『あなたは日本の台湾統治時代をどう思う?』と言われた。あなたは何を話すか」には、次の3つの要素が見出せる。

第1に「日本の台湾統治時代」について理解すること、第2に生徒個々が第1についての意見をもつこと、第3に台湾の人への伝え方を考えることである。

第1の段階は知識の習得、第2の段階は知識の活用、第3の段階は日本史という枠を越えて考える必要がある。

従来型の授業であれば、第1の段階で終わるところを、第2・3の段階を盛り込むことによって、知識を得るだけでなく、その知識を私たちの周りの世界について説明することに役立ったり、より理解を深めたり、決断につなげたりすることができる。

5. 授業デザインの特徴

このような授業の特徴は、〈日本史A〉の授業デザイン全体の特徴ともつながる。それは、IBが掲げる次のような「IB学習者像」とも関係してくる。

探究する人
知識のある人
考える人
コミュニケーションができる人
信念をもつ人
心を開く人
思いやりのある人
挑戦する人
バランスのとれた人
振り返りができる人

これらは「IBの使命」に基づいて示されている。

国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いの違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

※「文部科学省IB教育推進コンソーシアム」

<https://ibconsortium.mext.go.jp/> (2020年3月1日閲覧)

「IB学習者像」「IBの使命」を前提にすることで、学習者を中心とした教育、自分とは異なる人々との協働を促す場づくり、生涯にわたって学び続けるための働きかけなどが大切であることがわかる。先述の堀越先生の〈日本史A〉の授業の特徴においても、このようなことが意識されていることは言うまでもない。なお、「生涯にわたって学び続ける」という点でいくと、2コマ目の授業で生徒から出た「この本を読んで今後の自分に何を取り入れていきたいか?」

という質問がつながる。

このような「IBの使命」は、認定校の有無に関係なく、授業改善をしていく際に参考になるのではなからうか。IBのDPでは決められたプログラムがあり、学習者中心の効果的なコンテンツが用意されている。

しかし、そのコンテンツではない〈日本史A〉の授業においても、堀越先生は「IBの使命」を意識的に取り込むことに挑戦している。

6. 新科目〈歴史総合〉などへの刺激

堀越先生の「IBの使命」を意識した〈日本史A〉の授業は、次期学習指導要領における〈歴史総合〉のみならず、〈日本史探究〉〈世界史探究〉においても参考になるのではなからうか。生徒による課題の追究や解決を促して思考力・判断力・表現力を育てようとするのが求められる新指導要領のスタンスともつながる。

〈歴史総合〉では、近現代史について、単元ごとに時代の変化を示す資料から「問い」を立て、関連する歴史的内容を学び、最後に単元を振り返り現代的な諸課題の形成に関わる内容を考察する。

まず、資料からの問い立てについては、堀越先生の1コマ目の授業のワークシートはその役割を果たしている。

次に、関連する歴史的内容の理解や現代的な諸課題の形成に関わる内容の考察については、ワークシートと補助プリントが学びの場をつくっている。

また〈日本史探究〉〈世界史探究〉では、単元ごとの「問い」立てのみならず、情報収集・分析を通じて各時期の特色を多面的・多角的に考察して諸事象を解釈したり歴史の画期などを表現したりすることも求められている。

堀越先生の〈日本史A〉の授業にあったような「日本の台湾統治時代」の理解を前提とした設問は、このような考察や表現にもつなげられよう。

さらに〈日本史探究〉〈世界史探究〉は、これまでの〈日本史B〉〈世界史B〉と内容構成にほぼ変化はないが単位数が減るなど、これまでとは違う環境（カ

リキュラム）となる可能性があり、内容の焦点化・重点化の匙加減がかなり大切となる。

堀越先生の実践では、最初から教師によるレクチャーを重視するのではなく、生徒たちがどこまで自力で理解できるかどうかを、ワークシートを活用した事前課題としている。

もし、事前の段階で生徒たちの理解が不足しているポイントが見つければ、全体もしくは個々に介入してフォローすることが可能である。

生徒があらかじめ理解できていることを、改めて教師がレクチャーすることにどれだけの意味があるのかを改めて考えさせられる。

7. 授業の「価値」

堀越先生は、歴史の授業や学びを教室・学校内にとどまらせない取り組みもしている。

堀越先生は、昌平中学校・高等学校が所在する埼玉県杉戸町を中心に活動する市民団体「すまえるプロジェクト」の依頼で、歴史の公開講座を担当し、地域住民向けの歴史に関わる講演をしたり、〈日本史A〉の授業を市民向けに体験してもらったりしている。（その様子は『埼玉新聞』掲載されている）



【『埼玉新聞』2020年2月14日より】

この講座には、地域住民だけでなく、IBコースの高校生も参加している。

〈日本史A〉の授業体験では、高校生21名と地域住民21名でグループワークをする企画である。

10～80代と幅広い世代が集まって「満州事変と日中戦争」について対話するのである。

参加した地域住民の方々からは「私の父は日中戦争に参加した」「自分たちのころとは教科書の内容が違うなあ」など、高校生とは違う見方や意見を聞くことができた。

その意見を引き出していたのは生徒たちであり、普段の授業で友人の意見に耳を傾け、積極的に発言し、意見を集約することができていることに堀越先生は感動したようだ（写真⑤）。



【写真⑤】「公開講座」の様子。生徒と市民がともに学ぶ。

平成30年改訂高等学校学習指導要領地理歴史編には、次のような文がある。

探究する活動とは、生徒の発想や疑問を基に生徒自らが主題を設定し、これまでに習得した歴史の概念を用いたり、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせたりして、諸資料を活用して主体的に多面的・多角的に考察・構想し、表現する活動である。また、生徒が充実した探究活動を行うためには、教師の支援が大切である。

「教師の支援」とは、何も教師だけが手を差し伸べたり、関わったりすることではないのではないのか。教師や同世代の生徒だけで学びの場を閉じるのではなく、経験など様々なあらゆる世代に対して開くこ

とで、新たな「価値」を生み出すことにつながる。「IB学習者像」にもある「探究する人」などとしての生徒に育っていくのであろう。

最後に、生徒さんたちに〈日本史A〉の授業についてインタビューした内容を紹介して終わりたい。

「日本史の授業は授業方法が面白い。生徒同士のディスカッションを通じて自分たちで理解していくことができるとても良い」

「自分たちで理解する」ことで「探究」につながり、その判断は学習者である生徒本人に委ねられている。教師はその支援者として存在するのであり、堀越先生はそのような存在として学びの場をつくることに挑戦しているのである。

◆訪問先データ

昌平中学校・高等学校（私立・共学校）

〒345-0044 埼玉県北葛飾郡杉戸町下野 851

HP：<http://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/>



令和2年度用として供給された公民科教科書（特に現代社会／政治・経済）の内容で、主要な更新事項について整理しました。

●マケドニアの国名変更。「北マケドニア共和国」に

【教科書対応ページ】 政経 314：前見返し，政経 315：前見返し，現社 316：前見返し，現社 317：前見返し

【解説】

北マケドニアは1991年に独立後、国名を巡ってギリシャとの関係が悪化した。これは「マケドニア」がギリシャの由緒ある名であること、この名称の使用はギリシャ北部のマケドニア地方に対する領土要求の野心を示すものとして、ギリシャがその使用を反対していたのである。1993年には、「マケドニア旧ユーゴスラビア共和国」の暫定名称を用いることで国連加盟を実現した。

2018年6月にギリシャとの間で国名を「北マケドニア共和国」とする合意が結ばれた。2019年2月、北マケドニア政府は国連に改名を通知し受理され、公式に「北マケドニア共和国」の名称の使用を開始した。

●石油輸出国機構（OPEC）が14か国に

【教科書対応ページ】 政経 314：前見返し，政経 315：前見返し，現社 316：前見返し，現社 317：前見返し

【解説】

OPECは1960年9月、国際石油資本（＝メジャーズ：エクソンモービル・ロイヤルダッチシェル・タトルなどの国際的な石油会社）に対し、共同行動をとること等を目的として設立された。1973年、第四次中東戦争の混乱の中で、価格決定権をメジャーズから取り戻し、以後2度にわたる原油価格の大幅引き上げを行い、原油市場における支配権を確立した。現在はその影響力が低下している。

2018年にコンゴが加入し15か国となっていたが、2018年12月の定例総会において、カタルが2019年1月1日をもって脱退することが確認され、現在は原加盟国のイラン、イラク、クウェート、サウジアラビア、ベネズエラと、リビア、アラブ首長国連邦（UAE）、アルジェリア、ナイジェリア、エクアドル、ガボン、アンゴラ、赤道ギニア、コンゴ共和国の14か国となった。

●^も百舌鳥・^{ふるいち}古市古墳群の世界遺産登録

【教科書対応ページ】 現社 316：前見返し裏，現社 317：口絵①

【解説】

バクー・アゼルバイジャンで開催された国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会が2019年7月6日、世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳（大山古墳）を含む「百舌鳥・古市古墳群」（大阪府）を世界文化遺産に登録すると決定した。天皇や皇族の墓として宮内庁が管理する「陵墓」の登録は初めてとなる。日本国内の世界遺産は2018年の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」（長崎県、熊本県）に続き23件目（文化遺産19件、自然遺産4件）、7年連続での登録。

百舌鳥・古市古墳群の古墳は、古墳時代の最盛期（4世紀後半から5世紀後半）にかけて築造されたものである。大阪平野に密集して作られた、前方後円墳、帆立貝形墳、円墳、方墳という4種類の古墳の型は、日本各地の規範となり標準化されたものである。「傑出した古墳時代の埋葬の伝統と社会政治的構造を証明している」と評価された。

●アイヌ民族支援法の制定

【教科書対応ページ】 政経 314：p.51，政経 315：p.27，現社 317：p.108

【解説】

法律として初めてアイヌを「先住民族」と明記し、独自の文化の維持・振興に向けた交付金制度を創設する新法。アイヌ文化振興法にかわって、2019年4月19日に成立した。政府や自治体の責任で産業や観光の振興にも取り組み、アイヌ以外の国民との共生や経済格差の是正を図る。先住民族への配慮を求める国際的な要請の高まりに応えた。ただ2007年の国連先住民族の権利宣言で民族の権利とされた自決権や、教育支援などは盛り込まれなかった。付帯決議では国連の宣言を尊重し、検討を進めるとしているが、今後の課題として残されている。

● 出入国管理法改正、「特定技能」の新設、出入国在留管理庁への改組

【教科書対応ページ】 政経 314 : p.61, p.73, 政経 315 : p.33 など, 現社 316 : p.74, 現社 317 : p.141 など

【解説】

少子高齢社会が進んだ日本では、生産年齢人口の減少により人手不足が深刻な問題となっている。そのため、一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人を積極的に受け入れていく仕組みを可能な限り早急に構築する必要があった。2018年12月8日、出入国管理法が改正され、農業や介護などの14業種を対象に、一定の技能と日本語能力のある外国人の、日本での在留資格「特定技能」が創設された。これまで認めてこなかった単純労働での外国人就労も可能となり、外国人材活用に門戸を開くことになる。また法務省設置法の一部も改正され、2019年4月1日から法務省入国管理局は、法務省の外局である「出入国在留管理庁」に改組された。その役割は、全ての人の出入国の公正な管理、外国人の在留の管理、外国人の退去強制、中長期在留者の在留管理、難民の保護などである。

● ハラスメント規制法成立

【教科書対応ページ】 政経 314 : p.173, 政経 315 : p.124, 現社 317 : p.109

【解説】

2019年5月29日に可決・成立し、同年6月5日に公布された改正女性活躍推進法で、女性の職業生活における活躍の推進及び職場のハラスメント防止対策等の在り方が見直された。この改正と併せて労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法等も改正された。これによりパワーハラスメント防止のために、事業主が雇用管理上なんらかの措置を設けることが義務づけられ、セクシュアルハラスメント他のハラスメント防止対策を強化する措置も講ずることが課された。これらを称して「ハラスメント規制法」とし

ている。2020年6月の施行が予定されている。

● 第25回参議院議員通常選挙

【教科書対応ページ】 政経 315 : p.56, 現社 317 : 口絵⑤

【解説】

2019年7月21日に第25回参議院議員通常選挙の投開票が行われ、参議院議員の半数が改選された。改選後議席では、改憲勢力である自民党・公明党・日本維新の会に、早期改憲に前向きな無所属を合計した議席数は160となり、参議院の定数245議席に対し、憲法改正の発議に必要な3分の2にあたる164議席には届かなかった。安倍首相は、与野党の枠を超えて3分の2の賛同が得られる改正案を作る考えを示した。

● 消費税が8%から10%に引き上げ、軽減税率実施

【教科書対応ページ】 政経 314 : p.153, 政経 315 : p.100, 現社 316 : p.124, 現社 317 : p.222

【解説】

2019年10月1日から、消費税が8%から10%に引き上げられた。ただし、飲食料品（外食と酒を除く）と新聞（定期購読契約が締結された週2回以上発行されるもの）に対しては軽減税率が適用され、消費税率は8%に据え置かれた。

これまでの消費税収の使い道は年金や社会保障といった高齢者中心であったのに対し、今回の引き上げの増収分は、待機児童の解消や幼児教育・保育の無償化など子育て世代の支援にも使われる。

● 児童虐待防止法改正、児童福祉法の制定

【教科書対応ページ】 政経 314 : p.59, 現社 317 : p.259

【解説】

近年の児童虐待において、肉親からの体罰などによる実態が明らかとなり、2019年6月に、児童虐待防止法と児童福祉法などの改正案が成立した。児童虐待防止対策の強化を図り、児童の権利擁護、児童相談所の体制強化および関係機関間の連携強化等の措置を講ずるためである。

児童相談所の体制強化策では、児童福祉司の増員に加え、虐待を受けている子どもを保護する「介入」と保護者の「支援」にあたる職員を分け、「介入」機能を強化する。また、児童に対する「しつけ」を名目とする体罰を禁止することが明文化された。

● TPP 11 発効

【教科書対応ページ】 政経 314 : p.190 など, 政経 315 : p.142, p.151, 現社 316 : p.157, 現社 317 : p.273
【解説】

TPP はアジア・太平洋地域の貿易自由化などを推進する経済的な枠組み。シンガポール・ブルネイ・ニュージーランド・チリの4か国で締結し、2006年に発効した。日本は2013年に協議に参加し、2016年には12か国で署名式が行われた。その後2017年1月、トランプ大統領就任に伴いアメリカが離脱を表明。11か国（オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、ベトナム）は2018年3月、TPP 11協定（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定：CPTPP）に改めて署名し、2018年12月30日に発効した。日本は自動車などの輸出拡大と、輸入食品の価格が値下げされる一方で、農業への影響は計り知れず、野党からの反発が激しかった。

● INF 全廃条約失効

【教科書対応ページ】 政経 314 : p.110, 政経 315 : p.75, 後見返し, 現社 317 : p.197
【解説】

アメリカとロシアの間の中距離核戦力（INF = Intermediate-Range Nuclear Forces）全廃条約は、1987年、レーガン米大統領とゴルバチョフソ連（当時）共産党書記長によって調印され、翌1988年に発効した。米ソ間で核兵器の削減が合意された初めての条約で、射程500～5000kmの地上配備型ミサイルの保有を禁止したものである。

ソ連崩壊後はロシアに引き継がれていた。

2019年2月、アメリカのトランプ大統領がロシアの条約違反を指摘し条約からの離脱を表明した。ロシアとの協議を進めたが、通告の6か月後に失効するという取り決め通り、2019年8月2日に失効した。これからの世界の軍備管理について、新しい枠組みが求められている。

● イギリスの EU 離脱

【教科書対応ページ】 政経 314 : p.98, p.206, 現社 317 : p.188

【解説】

イギリスは2016年に国民投票でEUからの離脱を決めた。2017年3月、EUに正式に離脱を通知し、原則2年とする離脱交渉が始まったが、2019年3月に離脱協定案がイギリス議会で否決され、離脱期限が延期されることとなった。その後、EUからの離脱を推進するジョンソン氏が首相となり、離脱条件などの調整を進めた。

2020年1月9日、イギリス下院はEUと合意した離脱協定案に基づく関連法案を可決した。その後、上院を通過しエリザベス女王が裁可し、1月31日午後11時にEUを離脱、同年末までの移行期間に入った。現状イギリスはEUとFTA締結に向けた交渉を進めている。12月末に移行期間が終了し、イギリスは完全にEUから離脱することになる。

● 憲政史上初、天皇が生前退位 令和の時代が始まる

【教科書対応ページ】 現社 316 : p.63, 現社 317 : 口絵⑤

【解説】

2019年4月30日、天皇陛下（第125代、御名・明仁（あきひと））が皇室典範特例法の規定に従い退位された。国の儀式「退位礼正殿の儀」では、安倍首相による国民代表の辞に続き、在位中最後のお言葉を述べられた。5月1日、皇太子徳仁（なるひと）親王殿下が第126代天皇に即位された。皇位継承に伴い、新元号「令和」に改まった。

『プリント素材データベース』を活用して 遠隔授業、課題配信用デジタルデータを作成しましょう！

清水書院の各教科書に対応した指導書 DVD-ROM 版には、プリント素材データベースが収録されています。これは授業用教材やプリントの作成を支援する PC ソフトです（収録素材：教科書本文、教科書準拠ワークノート、板書事項例、定期試験問題、センター試験過去問、一問一答問題〈公民科のみ〉、白地図、法令）。

教科書の単元や科目の分類ごとに素材を検索し、

Word に出力して、授業の教材・プリント・課題が簡単に作成できます。

次ページのサンプルのように、ワークノート、一問一答問題、センター試験過去問を授業単元で検索、出力した Word データを組み合わせて加工することで、生徒にあわせたオリジナル教材も作成できます。遠隔授業や課題配信等が必要とされる今、デジタル教材作成のサポートにぜひご活用ください。

》》》 使い方カンタン 4ステップ

1

教科書を選ぶ

2

素材の種類を選ぶ

3

「単元」・「分野」・
「キーワード検索」
から1つを選ぶ

4

検索結果から
素材を選ぶ

一学期中間考査

年 組 番 名

【1】イスラームに関する以下の語句に関する説明として正しいものを、後の選択肢から選び、それぞれ答えよ。

A イスラーム B アッラー C ムハンマド
D クルアーン（コーラン） E 六信 F 五行

ア. 唯一絶対の人格神のこと。
イ. 神・啓典・預言者、などを信じること。
ウ. 信仰告白・礼拝・断食・巡礼、などの実践のこと。
エ. 神の意思とその教えに絶対的に従うことを意味する言葉。
オ. 6世紀末にアラビアのメッカに生まれた商人で、神の啓示を受けた預言者とされる。
カ. イスラームの中心啓典で、信仰上の戒律だけでなく、日常生活上の細かい規則も書かれている。

【2】ブダについて説明した下の文章を読んで、後の各問に答えよ。

A. 人生は、生・老・病・死のように思い通りにならないことに満ちている。このことから、①人生はすべて苦である
と認識した。
B. 人間がこの世の真理について②正しい知恵をもたないでいるために、自我への執着が生じ、私たちが③苦に悩ま
れる原因は私たちが自ら作り出した。
C. 苦の原因をなくすることができれば、苦を脱して④理想的な安らぎの

体裁まで整えられる！

解答の有無や出力位置はもちろ
ん、タイトルや氏名記入欄なども調整可能。
プリントや試験問題作成の
時間を節約できます。

【学習課題作成例】 清水書院 現社 316 「高等学校 現代社会 新訂版」の単元から

【自主学習課題 1】 年 組 番 名 前 _____

第1編 第1章 1-2 青年期と私たち/自分らしさとは何だろうか 教科書 p.40~46

●整理しよう

青年期とは

① _____とは、子どもから大人へと変化を遂げて多感な時期である。

② 複数の集団のどちらにも十分に所属することができず、各々の集団の境界に位置している存在を、 _____ (境界人、周辺人) とよぶ。

自我のめざめ

③ 「自分とは何者なのか」の問いを心の中で抱きはじめると、 _____ がめざめる時期である。身体的に成熟するだけでなく、精神的にも人格や _____ 同フランスの思想家 _____ は、人間として大きくなった。

④ 思春期には、それまで心理的に依存していた親や _____ することを _____ という。

⑤ 親親や大人社会の価値観に対して懐疑や批判の _____ (_____)。

欲求と防衛機制

⑥ _____ には行動範囲も広がり、 _____ も多様化する。

⑦ _____ の充足が阻まれたり、相反する _____ が同時に _____ (_____) (フラストレーション) の状態に陥る。

⑧ _____ は、 _____ の状態になると、私たちの心には無意識のうちに安定を保ち、自我を守ろうとする働き (_____) があると指摘した。

●まとめてみよう

1 防衛機制の例

① ()	不快な記憶は忘れようとする
② ()	恥の痛ぶどうに手が届かぬのつらさや、あの影がどうも忘れられずにつらさを感じる
③ ()	子どもが英雄の本を読んで、英雄になつたつもりになる
④ ()	自分が相手を憎んでいるのに、相手に憎まれていると思う
⑤ ()	内心では嫌悪を感じている相手に、過度に丁寧な態度で接する
⑥ ()	子どものいじめが、大人をかかむ
⑦ ()	失意した作家が、創作に没頭する

2 マスローの欲求の階層的体系

① _____ の欲求	② _____ の欲求
③ _____ の欲求	④ _____ の欲求
⑤ _____ の欲求	⑥ _____ の欲求

●一問一答問題

②ステップ2で「一問一答問題」を選択。単元ごとに問題を選択して、重要語句の確認に使える。

③ステップ2で「センター試験過去問」を選択。生徒のレベルにあわせて過去問から発展問題として選択できる。

●発展問題

① 次の青年期の特徴A～Dと、その具体的な記述ア～エとを結び、ただし、解答の順序は問わない。

A 心理的離乳(ホリダワース) B _____
C アイデンティティの探求(エリクソン) D _____

ア 自宅から通学可能な大学に入学したが、決して通学しないことを選択した。
イ 大人と同じような権利や責任を持ちたいと思うとともに、弟や妹の持っているキャラクターグッズにも関心がある。
ウ 親への依存心は持ちながらも、親の言うことやすすることには、いちいち反発したくなる。
エ 学校や家庭など違った場所ですれなりに対応できていると思うが、どれも本当の自分なのか分からなくなることがある。

① Aーウ ② Bーア ③ Cーエ ④ Dーイ

② 青年に関する記述と適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① ルソーは、青年期を心理・社会的モラトリアムと呼び、大人としての責任や義務を果たすことを警告させた。

② ハヴィグーストは、青年期に取り組むべき発達課題として、職業の選択やそのための準備などを挙げた。

③ 学業や学生生活に対して意欲や関心が高くなるという、青年期の学生にみられることがある無気力状態は、スチューデント・アパシーと呼ばれる。

④ 青年期に、親や大人に依存していた状態から自立に向けて踏み出すことは、心理的離乳と呼ばれる。

【単元まとめ作成例】

第1編 第1章 1-2 青年期と私たち/自分らしさとは何だろうか 教科書 p.40~46

1. 青年期とは
12～22歳くらい、teenage(13～19歳)
→児童期と成人期の中間→マージナル(境界人、周辺人)→レヴィン(アピアの心理学者)

2. 自我のめざめ
「第二の誕生」→「第二の世に生まれる」→はじめる人間に生まれ、次は男性か女性に生まれる
「我々はいつか」→「第二の世に生まれる」→はじめる人間に生まれ、次は男性か女性に生まれる
→青年期に起こる変化
身体発達変化→第二次性徴=自分の変化/他者への興味/他者の目
精神的变化→心理的(精神的)離乳 第二反転期=おとなへの依存から自立
→「私」についての問いのめざめ=自我のめざめ

3. 青年期の発達課題
発達課題→各発達段階で達成すべき課題
ハヴィグースト→発達課題を提出
エリクソン→人間の誕生から死までの過程(ライフサイクル)を分析
8つの段階とそれぞれの発達課題を指摘
→青年期の課題→アイデンティティvs アイデンティティ危機

4. 自分とは何者か?
自分の長所/短所→他者の視点が必要
アイデンティティ(自我同一性)→エリクソン→青年期の発達課題
自分が一貫した存在であるという自己意識 →自分の欲求や特性の理解

5. アイデンティティの探求と獲得
自分が社会的に承認されているという意識
→客観的視点・周囲との承認/自己肯定感
=自分自身の「やりたこと」や「やれなかったこと」や「やるときは何か」
自分が周囲に受け入れられているという感覚
自分のやりたこと、自分が得意な感覚 など

6. パーソナリティの形成→性格・気質・能力から成り立つ個人的特徴
→遺伝的要因と環境的要因から形成

7. 欲求と防衛機制→豊かな自己実現に向けて
欲求→充足
→充足失敗・長痛→欲求不満
防衛機制→フロイト
欲求不満による劣等感から無意識のうちに心の安定を保つ→自己防衛機制→マスロー
低次の欲求が満たされないと高次の欲求は生じない

⑤指導書 DVD 収録の図版データを貼り付け。

④ステップ2で「指導書板書事項例」を選択。単元ごとのまとめを生徒に提示できる。DVD収録の教科書掲載写真・図版を加えれば、さらににわかりやすい教材に!

『指導と研究』<DVD-ROM版>
本体価格 各 11,000円

■指導書・教科書のデジタルデータが満載。
■指導にすぐ使えるオールインワンパッケージ。

《学習支援コンテンツのご案内》
このたびの新型コロナウイルス感染症対策にとともに、1学期授業が見込まれる各科目の単元の学習に活用できる学習支援コンテンツを下記弊社Webサイトにご紹介しております。ぜひご利用ください。

清水書院 HP / 先生へのサポート / 生徒用の学習支援コンテンツの紹介
<http://www.shimizushoin.co.jp/support/contents/tabid/112/Default.aspx>

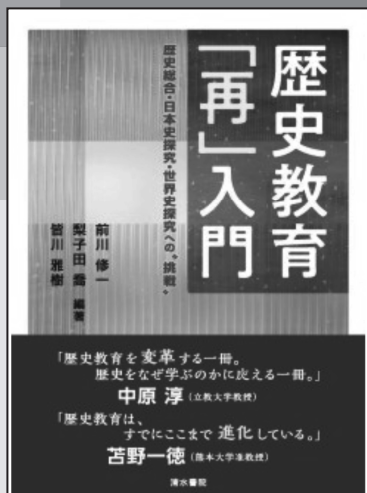
全国歴史教育研究協議会第61回研究大会（岩手大会）について

今年度開催を予定しておりました

「全国歴史教育研究協議会第61回研究大会（岩手大会）」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。今研究大会で発表予定だった研究成果は、今年度の『全歴研研究紀要』の形で残り、次年度第62回研究大会（大阪大会）に引き継ぎたいと考えております。

全国歴史教育研究協議会

清水書院刊行物のご案内



A5判／352ページ
定価(本体 2,300円＋税)

これまでの「歴史教育」を再構築するための提言

歴史教育「再」入門

歴史総合・日本史探究・世界史探究への”挑戦”

著者・編者

前川 修一／梨子田 喬／皆川 雅樹

2022年度より高等学校の新学習指導要領では「歴史」系の科目として「歴史総合」「日本史探究」「世界史探究」の授業がはじまる。あらためて、これらの新科目とこれからの歴史教育のあり方を考えるための一冊。

具体的な実践例として世界史6例、日本史6例を掲載。「問い」のたて方や、見方、考え方など様々な観点からの論考も収録。



←詳細はアクセスしてご確認ください。



新科目「公共」

「公共の扉」をひらく 授業事例集

著者・編者

東京都高等学校公民科「倫理」「現代社会」研究会

高等学校公民科の新科目「公共」についてのわかりやすい概説と、「大項目A 公共の扉」のためにアレンジした22の授業事例を掲載した、「公共」を知るための一冊です！



←詳細はアクセスして
ご確認ください。

「公共」の
全体像が分かる！
すぐに授業に使える
工夫が満載！

B5判／200ページ
定価(本体1,800円＋税)

Research 2020.1st 特集 学びの場としての授業実践

2020年5月15日 発行

発行所 (株)清水書院／印刷所 広研印刷(株)